

ずいそう

繋ぐ夢

三谷 斉



私は、演歌が好きでよく聞き、たまには歌います。特に堀内孝雄の歌が好きです…十八番は「時代屋の恋」…歌詞の出だしの～あんと二人で昭和の川を～から始まる文句が、自分の歩いて来ました昭和を愛おしく思い出させ、何とも胸が熱くなります。

初恋はいつの事やら遠い昔ですが…誰もが経験が有ろうかと思います。そして、何回かの恋も経て今日が有る訳ですね。

数少ない経験の中でもあの方はその後幸せに暮らして居るだろうか…懐かしく回想する歳になった自分が少し可笑しく思えます。

けれど、終戦後に生まれて高度成長期に青春を過ごして来た私は、恋もそうですが、子供時代から親の背中を見て育ち、いつの日か親の仕事を継いで建設業に携わっています。

わが社は明治39年創業でとうに100年が過ぎました。

初代が明治、大正、そして昭和30年代、その後2代～6代の間が有り私が7代目になりますが、丁度…昭和～平成に年号が替わった頃から社長を拝命し現在に至ってます。

長い社歴の中には数々の公共構築物がありますが、特に民間工事の中にはゴルフ場の開発工事が多数有りまして、高知県内は勿論の事、戸張捷さんには大変お世話になり、九州、関東等々のゴルフ場の工事に携わって参りました。

私も楽しいゴルフをします関係で友達が多く今でも週一は必ず行っていますが…俗に言います保険屋さんですね。ちなみにハンディーキャップ18は30年近く変わっていません。

県外のゴルフ場は、四国島内と瀬戸内は近いので時間が有れば仲間たちと行きます。一泊2プレーですね。

これからは気候も良いので、少しは足を伸ばし最近少し遠のいている関東方面も良いかな～っと考えてます。

バスを借り切り高速道～一般道に山間の景色を観ながら風情を楽しむのが最高ですよ。

楽しい話ばかりでは無い現実には目を向けますと、公共工事の大幅な削減により、リストラや業種変更や転換等々の話もあちこちで囁かれてはいますが、今年の3月11日の東北大震災が日本を衝撃の渦に巻き込み、未だ残る現地の方々の心痛を考えれば、うかうかとしては居られないのも事実ですね。

私たち高知県の建設に携わる者としても、建設業協会会長の陣頭の下にすぐさま現地に応援体制をとの声で県下一円で奮い上がり、四国地方整備局の指示を待ちました。

まずは義捐金と物資を現地に送る事を、県を通じて行動を起こしたものです。

そして当社も、待ちに待った四国地方整備局のお声が4月にかかり、日ごろから訓練していました排水ポンプ車の応援の日が訪れまして…人選をすべしで検討に入りましたが、私が心配するのも取り越し苦労でした。

会社の全員の気持ちが一つになり、まだ余震が頻繁に起こる現地に乗り込んで行きたい者が続出し、逆に嬉しい選択に悩みましたが、優秀な社員を何班かに分けまして送り出す事が出来ました。

現地から帰って来ました社員からは疲れは勿論有りましたが、それより何より参加出来て少しのお役に立ったのではとの安堵感に溢れた顔を見て、私は少し抑えられない感情に浸りました。

災害はいつどの様に何処で起こるかは分かりませんが、少なくともこの約30年以内に70%以上の確率で必ず起こると言われています、東南海、南海大震災の備えをしなければならぬと思いました。

私達の大先輩の方々が築いて来てくれました、偉大な日本の技術を、後に続く若者たちに繋ぐ夢が、私達には有ると思います。

頑張れ東北、頑張れ日本、頑張れ若い世代よ…必ず私の好きな、演歌の詞ではないが…いつかきっと花咲く時が来る。